

まきどき・植えどき・収穫どき  
どきどき情報 12月

野菜の作業 今年の栽培の反省を行い、来年の栽培計画をたてましょう！

種まき	収穫	栽培・管理のポイント
二十日大根 ホウレンソウ 小松菜 など	葉ネギ チンゲンサイ ナガイモ 小松菜 二十日大根 ホウレンソウ など	<b>野菜（根物、葉物など）の保存方法</b> 冬期の野菜出荷方法の一つとして「貯蔵」による計画出荷があります。貯蔵方法は、様々な方法でそれぞれ工夫していると思われませんが、「貯蔵中も野菜は生きている」ということを踏まえ、皆さんもご承知のことと思いますが、次のことを基本に工夫し実践してみてください。 ・ <b>温度</b> ：凍まないよう（一般的には0 以上）注意する。 ・ <b>湿度</b> ：乾燥しすぎないように注意する。（ほとんどの野菜は、湿度を必要としますが、タマネギ、ニンイク、カボチャなどは乾燥気味が良い） ・ <b>エチレン</b> ：老化ホルモンとも言われるホルモンで、果物や完熟トマトなどエチレン生成量の多いものと、エチレン感受性の高いニンジン、キャベツ、ホウレンソウなどは一緒に貯蔵しない。 *具体的な方法などは、「どきどき情報」4号や38号を参照ください。また、皆さんの工夫を募集していますので、情報をお寄せください。



【ハウスのカーテンやトンネルによる保温力の向上】  
カーテンやトンネルの設置事例から

ハウス内の保温対策は、ハウスからの放熱をいかに減らすかが課題で、放熱は、被覆資材と構造材を通じた放熱、被覆資材の隙間からの放熱、地中への伝熱があり、とを減らすことがポイントです。参考にハウスのカーテンやトンネル掛けの事例を紹介いたします。カーテンは、ハウス内にもう1枚、2枚と被覆をするもので、ここでは比較的簡単な直管を使った方法を紹介いたします。写真では見にくいですが、ハウス内に直管でハウスを作ります。（上・下写真）

ハウスの側面、屋根面に直管で被覆材を支えられる骨組みを作ります。そして側面、屋根面を被覆資材で覆います。そのときポイントとなるのが写真の印のカーテンやトンネルの二重被覆事例のような被覆資材の繋ぎ部分であり、できるだけ隙間の無いよう設置することが大切です。

また、トンネルについても下の写真のようにパイプやダンポールなどを使い二重トンネルとし保温効果を高めることも可能です。なお、温度管理や換気には十分な注意が必要となります。



カーテンと二重トンネルの事例(花)

(参考)

パイプハウスの保温被覆資材別の熱節減率

保温方法	保温被覆資材	熱節減率
一層 カーテン	ポリエチレンフィルム	0.35
	塩化ビニルフィルム	0.40
	アルミ蒸着フィルム	0.55
二層 カーテン	ポリエチレン + ポリエチレンフィルム	0.45
	塩化ビニル + ポリエチレンフィルム	0.50
	ポリエチレン + アルミ蒸着フィルム	0.65

注) 熱節減率は大きいほど保温効果が高い



# 農業豆知識

## 栽培の作業日誌・防除記録の書き方と活用（その2）

栽培日誌や防除記録は計画的・効果的な作業を進めるためなどに大変有効であるというお話を前号でさせていただきましたが、今回も自分なりに工夫し活用している事例を紹介させていただきます。

また、組合員の皆さんも「私は、こんな記帳方法で役立っているよ。」というような方がいらっしゃいましたら、是非情報のご提供をお願いします。

### （事例2）「Aさん」の事例

これは、「トマト」の栽培（肥培）管理を工夫して分かりやすく記帳している事例です。

畑毎、ハウス毎などのように作期が異なるものを別々に管理し、ホルモン剤、追肥などを確実にを行い、次年度に活かそうということで取り組んでいる事例です。（防除記録は、別途実施）

### トマト栽培管理記録

の畑		1号ハウス		2号ハウス	
定植：6月16日、380本		定植：6月24日、450本		定植：6月26日、420本	
ホルモン剤処理	追肥(液肥)	ホルモン剤処理	追肥(液肥)	ホルモン剤処理	追肥(液肥)
(以降同様に記録)		(以降同様に記録)		(以降同様に記録)	
8/6 /	8/16(2kg)	8/15 /	8/16(2kg)	8/17 /	8/21(2kg)
7/29 /	8/4(2kg)	8/6 /	8/4(2kg)	8/9 /	
7/23 /	7/29(2kg)	7/29 /	7/29(2kg)	8/3 /	
7/17 /		7/23 /		7/26 /	
7/11 /		7/17 /		7/20 /	
7/4 8/11(初出荷)		7/10 8/15(初出荷)		7/13 8/17(初出荷)	
品 種 :		品 種 :		品 種 :	
肥料(液肥) :	号	肥料(液肥) :	号	肥料(液肥) :	号

### （解説）

畑やハウス毎に1マスずつ使います。中央の ~ はトマトの果房の段数を表しており、その左側に果房毎のホルモン剤処理日や出荷始めを記入するようにし、右側には追肥の期日と施肥量を記入するという方法です。これにより定植日毎の初出荷や段毎の収穫日がわかります。また、ホルモン剤処理のやり忘れや重複がなくなり、効率的な作業が可能となるというものです。これは、長期出荷を目指し定植回数を多くする場合には、より有効と思われます。

### 「ちょっと便利ないい情報」

皆さんは、ハウスの固定や果樹の誘引などで「マイカー線」を使うことは多いと思います。

そんな中、最近、杭などに固定しておいたところ何者かに「切られてしまった」という経験は無いでしょうか。これはタヌキなどの仕業ではないかと思われそうですが、これに対抗しマイカー線の地面際を塩ビパイプ（水道用など）70～80cm程度に通し杭などに固定するという方法です。

これにより、噛み切られがほとんどなくなったとのことですので、参考にしてください。